

## 編 集 後 記

「環境世紀」と呼ばれる21世紀の持続的発展を可能にするためには、環境に関する教育研究が益々重要になってくる。このような潮流の中で、本誌の重要性を更に高めたいという願望を込めて、今年度号より表紙のデザインを一新した。編集委員会からの度重なる要求を快く組み入れて、デザインをしてくださった教育学部の橋ヶ谷佳正先生はじめ橋ヶ谷研究室の皆様には厚く御礼申し上げる。デザインのコンセプトが奥付に掲載されているので、一読されたい。記念すべき本号には、「循環型社会の形成に向けて－廃棄物の環境負荷低減策－」と「都市環境制御の新たな潮流－コンパクトシティとスマートグロース－」と題した総説をはじめ、廃棄物処理・リサイクルに関する解説2編と学術論文2編をご寄稿頂いた。身近で重要な廃棄物問題に関する研究や処理技術の更なる展開を期待すると共に、今後も本誌がその研究・技術動向を提供できれば幸いである。

環境管理センターは、本学の諸活動による環境負荷の低減に指導的な役割が担えるように、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証取得を目指して、職員が一丸となって準備を進めている。環境管理センターの認証取得に向けた活動を機に、本誌への解説や学術論文の投稿が更に増え、名実共に、表示のデザインが意図する雑誌になることを祈りたい。

三宅 通博